



新たな創造への挑戦

南三陸町議会議長 後藤 清喜

新年明けましておめでとうございます。輝く平成十九年の新春を皆様と共に迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年中は、町政発展のために微力ではありますが、議会活動に専念することができましたことは、皆様方の力強いご支援とご協力の賜物と心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

国の経済状況は、回復傾向にあると言われておりますが、その波及効果は程遠く、当地域においてははまだ、厳しい状況におかれております。

同様に、地方行政におきましても、長引く景気の低迷による雇用状況の悪化、少子高齢社会の進行など、様々な課題に直面し、行政の枠組みをも大きく転換する行政改革が求められ、まさに自治体の真価が問われている時代と言っても過言

ではありません。

このような中で、南三陸町の誕生から一年が経過し、着々と町づくりの新たな基礎固めが進められ、新町建設に対し、意を新たにしているところであります。

さらに、時を同じくして、三陸縦貫自動車道は、皆様のご支援のもと、順調に事業が進められ、本吉・気仙沼道路の路線につきましても、測量が着手の運びとなっており、昨年の十月には中心杭設置式が挙行されました。

当地方も高速交通体系に組み入れられ、南三陸町の豊かな資源が、都市部の皆様への一大供給基地、そして観光の拠点となるのも間もなくのことと認識をいたしております。

議会といたしましても、このような明るい社会情勢を追い風とし、町当局と互いの知恵を出し合いながら、諸課題を解

決し、住民福祉の向上を図り、光り輝く町づくりに全力をあげて取り組んでまいり所存であります。

「一年の計は元旦にあり」と申し上げます。新年を契機に、相ともに心を新たに、町民だれもがふるさとを誇りとし、心豊かで安心して暮らせる地域づくりを目指し、「この町に住んでよかった」と思えるような町づくりの実現のため、決意を新たにしておりますので、どうか皆様方におかれましては、本年もなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

平成十九年が皆様にとって最良の年となるように、さらに南三陸町としての一体感を深めながらご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、年頭に当たりましてのご挨拶といたします。